

新経営計画策定に向けた検討状況等について

あいの風とやま鉄道では、新型コロナウイルス感染症がもたらす生活様式の変容など社会経済情勢の変化を踏まえ、将来にわたって安全に鉄道を運行していくため取り組むべき施策などを盛り込んだ新たな経営計画の策定を行うこととしています。

現在、県、市町村、経済団体及びあいの風とやま鉄道からなる「新経営計画検討ワーキンググループ」にて策定に向けた検討を進めることとし、これまで3回開催しましたが、その検討経過及び今後のスケジュールについて報告いたします。

1 これまでの検討経過

- (1) 第1回WG（2020年7月開催）
 - (2) 第2回WG（2020年11月開催）
 - (3) 第3回WG（2021年5月27日開催）
- } 概要は2020年12月協議会で報告済

「新経営計画の基本方針と重点施策（案）」「新経営計画期間中の設備投資項目（検討中）」「今後の運賃改定に関する考え方」等について審議

<主な意見>

○基本方針と重点施策

- ・あいの風鉄道は域間交通を担っており、利便性においては速達性も重要。
- ・鉄道施設の維持管理や橋梁・トンネルの修繕などの際には、国の支援や関与を求める視点も必要である。また、各並行在来線間との連携が必要になってくる。

○設備投資項目

- ・駅でのエレベーター設置の要望も多くなっている。補助制度に様々な制約があることは承知しているが、できるだけ多くの駅にエレベーターを設置いただけるよう配慮いただきたい。

○運賃改定

- ・運賃改定の時期の判断は、あいの風の経営維持の観点と現在の経済情勢等を考慮して検討すべきで悩ましいところである。収支や今後の利用状況の見通しも見据えたいとの議論が必要である。

⇒ あいの風とやま鉄道からは、「県内の社会経済情勢を考慮すると、2022年春での運賃改定は難しいと認識しているが、今後も検討を進め、本年12月に改定時期を決定したい」との考えが示された。

<参考>

現行計画策定時（2013年12月）における開業前（JR）の運賃水準等との比較

	あいの風とやま鉄道		しなの鉄道	いわて 銀河鉄道
	開業から 5年以内	開業6年 ～10年以内		
通学定期	1.03倍程度	1.05倍程度	1.61倍程度	1.52倍程度
通勤定期	1.12倍程度	1.19倍程度	1.49倍程度	1.48倍程度
普通運賃	1.12倍程度	1.19倍程度	1.24倍程度	1.55倍程度
平均	1.09倍程度	1.14倍程度	1.45倍程度	1.52倍程度

第14回協議会（2019年12月）において、開業6年目（2020年春）での運賃改定は見送り、その時期は当面2022年春又は2023年春を目途とするが、今後の収支状況等を踏まえ引き続き検討するとした。

2 今後のスケジュール

今月実施した利用状況調査を基に予測した将来需要や収支見込み等により新経営計画を今年12月に策定する予定としていましたが、12月の利用促進協議会では素案を提示し、利用者を含む関係者の意見をお聴きして、十分検討したうえで、**2022年3月に新経営計画を策定**。

2021年	6月	・利用促進協議会
	）	（ ・新経営計画の策定に必要な調査の実施（利用状況調査） ・新経営計画の素案等の策定に向けた新経営計画検討ワーキンググループにおける議論等
	12月	・利用促進協議会 → 新経営計画の素案について議論
2022年	1月以降	・あいの風とやま鉄道による利用者向け説明会の開催
	）	（ ・新経営計画や経営安定基金収支計画の策定に向けた新経営計画検討ワーキンググループにおける議論、経営安定基金収支計画の策定等
		・あいの風とやま鉄道において、これまでの議論等を踏まえ新経営計画を策定（3月）
		・利用促進協議会 → 新経営計画等について説明